

ラインの黄金

～巨大なパワーを秘めた指環をめぐる神々のバトルが今始まる～

7月19日(土)・21日(月)祝

14:00開演【中ホール】日本語上演・日本語字幕付

一般4,000円 青少年(25歳未満)1,500円 シアターメイツ750円 *
*チケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)【全席指定・税込】

演出・訳詞・お話

三浦 安浩



作品について予習しなくても、気軽に劇場に来て「オペラって楽しい、おもしろい」と感じて帰ってもらいたい。そんな思いを込めて、子どもと一緒に楽しめるよう、「ラインの黄金」をファンタジーオペラとして新演出します。三浦さんに見どころをお伺いしました。

ポイント1 ファンタジーオペラ

『ラインの黄金』には、巨人や小人、神々が登場するので、映画「ハリ・ポッター」や「ロード・オブ・ザ・リング」最近では「アナと雪の女王」などに近いものを感じています。この物語は「人間の欲望によって人類が減っていくことに警鐘を鳴らしています。その点を強調して大人のエゴの世界を描くこともできますが、「人間」というのはおもしろおかしいものだよってことを、ちらっとのぞかせつつ、全体としてはファンタジーの物語でエンターテインメントとして楽しく観終わるようにしようと考えています。

「オペラというのはこういうものです」と威圧するのではなく、「何が始まるのかなあ」とワクワクした気持ちで劇場に来たら、「何？何だろう？」と知っているうちに、いつの間にかファンタジーの世界に入り込んでしまう。「ハリ・ポッター」でいえば、そこにはないはずの駅のホームからずっと魔法の世界へ入る、そういう現実とファンタジーとの接点を大事にして、お客様を『ラインの黄金』の世界へお連れしたい。現実からファンタジーの世界に入り、飲み込まれてしまったという恍惚感というか、幸せな気持ちを感じてもらえたら、と思います。

ポイント2 日本語上演

お客様、とくに子どもたちに理解してもらうために日本語字幕をつけますが、字幕を追いかけて舞台がなかなか観られないのではなく、聞き取れないときにガイド的にみてもらいたい。また、歌手が歌った言葉をそのまま聞いて理解できるように、出来るだけ分かりやすい言葉で歌詞を作りました。何かを観るときに言葉を理解できないがゆえに、その作品が難しいものに感じてしまうのは決していいことではないと思っています。

ポイント3 ワグナーの音楽

場面転換中の音楽を作っている点もワグナーの特徴ですが、ほかに「ライトモチーフ(示導動機)」という手法も用いています。これは、今では当たり前のように使われていますが、例えば「スター・ウォーズ」のダース・ベイダーが登場するシーンに決まった音楽が使われるように、音楽が感情や物事、特定の人物などと結びついていることを指しています。観ている人が「これとこれはつながっているんだ」ということを、理屈や言葉だけではなく音楽でも体験できるのです。

ワグナーは台本をほとんど自分自身で書いています。最初に、四部作の最後の作品を作り、そこから遡るようにして書いているので、「最初に出てきたあれがここにつながっているのか」という仕掛けや伏線がたくさん張り巡らされていて、非常に奥深いです。

ですが、まずは「オペラっていいな」という感動を味わって欲しい。私には、予備知識なく観ただけ、ものすごく感動した経験が今までに何回かあります。皆さまにも、観たときに「えー!!」って感じる経験になるべくたくさんしてもらえたらな、と思っています。

アルペリヒ役
砂場拓也 (バス)ヴォータン役
林 隆史 (バス)フリッカ役
森 季子 (アルト)ローゲ役
古屋彰久 (テノール)

4月某日、楽譜を手にして数日しか経っていない段階で、主要役を務めるびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーが作品に対する思いなどを語りあいました。

『ラインの黄金』に出演されるのは初めてですか？
古屋：そうです。全員初めてですね。

それぞれ、どんなふうに役作りをしようと考えていますか？

林：神々の長であるヴォータンは厚厚で威厳のあるイメージなので、そのキャラクター性を出したい。日本語の歌詞が所々だけ感じ、子どもっぽくムキになつたりします。また、歌う量ではアルペリヒの方が多いので、歌う量が少なくても、お客様に印象づけられる歌が歌えたらいいな。

森：フリッカはいわゆる「奥さん」とはちょっと違う。神の世界での役目を果たそうとする一方でヴォータンの妻でもある二つの立場から繋がる深いものを感じます。どこを色濃くしていくかはこれから楽しみ。大人の女性として、何をしながら生きていくのか、気持ちはどこに向いているのかをはっきりと演じたい。砂場：愛を捨てなければ黄金の指環を作れないけどアルペリヒ(ニーベルング族の小人)は世界の支配者になるために、その指環を手にした野望を抱くんです。だからヴォータンにその指環を奪われたときの怒りはとても強い。願望が非常に強く、悪いヤツというのを印象づけたいし、何を犠牲にしても権力を得たいという部分をうまく表現したい。

古屋：火の神であるローゲは、超クレバーというかスル賢い。この物語を引っ掻き回すというか、クールな目線で登場人物を見ている反面、途中できれいなア

あらすじ

ライン川の黄金で作った指環には、世界を支配できる巨大なパワーが宿ると言われている。小人のアルペリヒはそれを知り、黄金を手に入れ指環を作るが、世界征服を夢見る神ヴォータンに奪われてしまう。怒ったアルペリヒは指環に呪いをかける。その指環を手にした者が破滅してしまうように…。神々や巨人を巻き込んで、呪いのかかった指環をめぐるバトルが始まる。

ラインの黄金 豆知識

1854年にリヒャルト・ワーグナー(ドイツ)が作曲、1869年に初演。「ラインの黄金」は「ニーベルングの指環」四部作の「序夜」にあたる。台本は「第三夜：神々の黄昏」→「第二夜：ジークフリート」→「第一夜：ワルキューレ」の順で、「序夜：ラインの黄金」は最後に書かれたが、作曲は最初に完成している。この四部作は、構想から完成までに26年を要した作品で、上演時間は約15時間におよぶ超大作。

ワグナーの音楽

森：でも、ローゲはワグナーの音楽だなんて感じますよね。
砂場：人物によって、登場すると流れる音楽があります。ワグナーの音楽はとにかく終始つながっているの、続いて出てくる次の人のテーマに自然に変わっていくのがワグナーらしい。

森：その人物の気持ちとか状況によっても決まっています。それを事前に知っているのと楽しいかも!!そのあたりはワグネリアン(ワグナーの熱狂的なファン)の楽しみかもしれないですね。

砂場：観ていたら、なんとなくわかってくるかもしれないですね。

森：あとは、ワグナーはなんといってもスケールの大きさ！

林：オーケストラの分厚さも！

森：音楽の作り方が大きくて、簡単には歌えない。ワグナーは、ずっと気が抜けない音の波みたいなものが長い。こちらもそのつもりで挑まないといけないので、ワグナーを演じるときはとても緊張します。それを日本語で歌うので、なおさらです。

♪ びわ湖ホール声楽アンサンブル 新メンバー紹介 ♪



飯嶋幸子 (ソプラノ)

透き通るような声が自慢です!皆様の前で最高の歌声と響きが届けられるよう精進して参りますので、楽しみにしてください。



藤村江奈奈 (ソプラノ)

沢山の経験を積み吸収し、絶対に先輩方のような素晴らしい歌い手になります!! 1人でも多くの方の心に残る演奏を繋いでいきたい。



平尾 悠 (ソプラノ)

守山の祖父の家に毎年遊びに行っているの、子供の頃から滋養は大好き!精いっぱい頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



川野貴之 (テノール)

個性が出る演奏ができるよう研鑽を積みたいと思います。お客様を夢の世界へ誘える演奏ができるよう頑張ります。



五島真澄 (バス)

アンサンブルを楽しむことを抱負に、心地よいと思っていいただける演奏が出来るよう頑張りますので、応援をお願いします。

チケットのお求めはお早めどうぞ。

インターネット予約 <http://www.biwako-hall.or.jp>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。詳しい推奨環境に関する表示は<http://www2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。携帯電話、スマートフォンの方はhttps://www2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/をご利用ください。

電話予約
チケットセンター TEL.077(523)7136
(10:00～19:00/火曜休館※休日の場合は翌日)



窓口販売
2階チケットセンター
(10:00～19:00/火曜休館※休日の場合は翌日)

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール



【駐車場のご案内】
有料849台 7:00～23:00 料金:4時間まで毎時210円

7月26日 JR草津駅前(東口)に新店オープン!



葉匠壽庵の和菓子は、すべてこの自然あふれる郷の中から生まれています。都会の喧騒を忘れ、旬の味覚やお茶席での心休まるひとときを、ゆっくりとお楽しみください。

か の う しょう じゅ あん す ない さと
叶匠壽庵 寿長生の郷 (定休日 通常水曜日 営業時間 10:00～17:00)
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1 <お問合わせ> TEL.077-546-3131 <http://www.kanou.com/>



懐石料理
お茶室

夏休みに劇場で遊ぶ二日間!

びわ湖ホールなつフェスタ

8/2
(土)8/3
(日)びわ湖ホール
なつフェスタ
 きょう こく とも ひこ
 Special Interview 京極 朋彦

3月某日横浜の中学校で『カイロー』上演(ショートバージョン)とワークショップを行ったとき、中学生たちの素直な声がおもしろかったと語る京極さん。その声は、単純に「すげー!」「ヤバイ!」といったものから、「からの～」といった合いの手や、「飛ぶんじゃない?」「もう一回来るんじゃない?」といった次の動きを予想する声などが会場に飛び交った。

即興ダンスとの出会い

大学1年生のとき、「感じたままにやりなさい!」と指導する、山海塾の岩下 徹さんのクラスに衝撃を受けました。いきなり実践で床に寝て、ゴロゴロ転がるという授業が、ダンスとの出会いでした。

役者になりたくて選んだ大学でしたが、当時は専攻分野以外の授業も受けないといけなくて、そのおかげで「ダンス」に出会いました。小中高とバスケットボールをやっていた体を動かすのは好きでしたが、ダンスは全く経験がなく、20歳過ぎてから始めました。

一生こんなだったら人生きっとおもしろい!

行事に命をかけているような高校に、3年間通っていました。文化祭では、3学年全21クラスがそれぞれ演劇かミュージカルを行い、3日間で21公演を行うのが名物でした。高校3年生のときに、「レ・ミゼラブル」で主役のジャン・ヴァルジャンを演じて初めて「一生こんなだったら、おもしろいな」って思ったんです。

それと似たような経験が、大学3年生のときに受けたダンスの授業でも起きました。クラスの受講生7名で1年かけて作品作りをしたのが、とても楽しくて、そのときも「一生こんなだったら…」という気持ちになりました。

そんな経験から、「ダンサーとして生きたい!」と思うようになりました。

音楽がなくても飽きないダンスを作りたい

コンテンポラリーダンスでは無音で踊ることは珍しくないのですが、最初は観る側として無音で踊るダンスは苦手でした。そんな風に

感じていたころ、『ソーグー』という30分間ノンストップで音楽を流し続ける作品に出演しました。そのような作品に対して、「まったく音を使わずに同じくらいおもしろい作品が作れるだろうか」、「人は人を飽きずに何分見ていられるんだろう」、「魅力さえあれば、ずっと見続けられるのか」などとずっと考えていたら、何も変化しない空間で、人が飽きずに見てくれる作品を作ってみました。

どうしても伝えたい、その気持ちで相手に伝える

『カイロー』のなかでは「デタラメ語」をたくさん話しています。コンテンポラリーダンスは、日常の仕草や身振りを抽象化させた表現もしますが、それならば、言葉も抽象化できるのでは?と思い、「デタラメ語」が生まれました。「どうしても伝えたい」その思いがあれば、言葉は分からなくてもなんとなく伝わります。それは自分の知らない言葉で外国人に話しかけられたときの感覚に近いと思いますが、何を言っているかわからない、でも相手の必死さが伝わってきて、言いたいことがわかる、そんな感覚です。



見えないものが見えたら…想像で魅せる

美術や照明、音楽のない『カイロー』は、その場所に元々あるものを使うというコンセプトのため、毎回異なる内容になっています。音がない世界で、人の身体を飽きずに見続けてもらうために、例えば、ただ立っている人間を見て「立っているだけだな」でそれ以上はないですけど、仮に身体が透明で心臓が動いているのが見えたら…結構見続けられるのでは?と思い、身体の中から起きていることまで観客が想像できるように見せられたら、と。

この作品では、大声でデタラメ語を話しながら舞台の外へ出て戻ってくるシーンがあるのですが、そのシーンを通じて、観客の皆さまに劇場は特別な場所でもあるけど、日常とつながっているってことを感じてもらいたいです。



京極朋彦

ダンサー・振付家。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科卒業。卒業制作のソロダンスが学科最優秀賞および学長賞を受賞。

京極朋彦ソロダンス『カイロー』

8月2日(土) 16:00開演[小ホール]

一般2,000円 青少年(25歳未満)1,000円 [全席指定・税込]

※インタビュー全文はホームページに掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。

演劇界の巨匠ピーター・ブルックの創作現場
その秘められた扉がついに開く!ドキュメンタリー
映画

世界中の観客を魅了し続ける「魔術的舞台」を生み出す稽古場に、ここ40年間で初めてカメラが潜入しました。ピーターの息子、サイモン・ブルックが監督を務め、5台の隠しカメラを設置。秘められた創作現場の様子が初めてドキュメンタリー映画として映像化されました。ブルックのエクササイズをさまざまな角度から切り取り、その背景にある哲学に迫ります。



ピーター(左) & サイモン・ブルック親子

ブルックの舞台は、俳優やミュージシャンらが参加するエクササイズやワークショップから誕生します。ピーターが目に見えない一本のロープをカーペットの上に張り、俳優たちを一人ずつ渡らせていきます。「タイトロープ(綱渡りの綱)を渡るには、身体と繋がった“本物の想像力”が必要。目で見

るのではない、足の裏で感じるんだ!」。一見、単純なエクササイズに見えるタイトロープは、俳優の想像力の真実を衝くだけではなく、身体が生命を宿し、その想像力と一体になっているかどうかをすべてさらけ出す、演技の原点といえるものに繋がっていきます。

巨匠ブルックのあくなき探究と、その遊び心をも映像におさめたドキュメンタリー。この機会をどうぞお見逃しなく!

『ピーター・ブルックのザ・タイトロープ(原題)』

Peter Brook: THE TIGHTROPE

(約90分、英語・フランス語上映/日本語字幕付)

8月3日(日) 15:00開始[小ホール] 入場料500円(自由席)

お申込み: びわ湖ホール事業部 077-523-7150(10:00~17:00)

この料金で楽しめるのは「びわ湖ホールなつフェスタ」だけ!

びわ湖ホールなつフェスタ そのほか公演情報

演劇 子供のためのシェイクスピア『ハムレット』

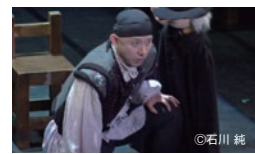
助成: 公益財団法人西川文化財団

8月2日(土) 13:00開演[中ホール]

一般3,500円 青少年(25歳未満)1,500円

シアターメイツ750円* [全席指定・税込]

*チケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)



©石川 純

パフォーマンス

明和電機メカニカルライブ

8月3日(日) 13:30開演[中ホール]

一般3,000円 青少年(25歳未満)1,500円 [全席指定・税込]



演劇、ダンス、パフォーマンス、ドキュメンタリー映画の上映など、さまざまなジャンルの公演を、8月2・3日の2日間にギュッと詰め込んだびわ湖ホールの夏祭り! このほかにも楽しいイベントを企画中! 詳細は、なつフェスタ公式サイトでご確認ください。
<http://www.biwako-hall.or.jp/natsufesta2014>



「びわ湖ホール友の会」会員募集中

一般会員 お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター

TEL.077-523-7136

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスをご提供いたします。

【一般会員】年会費2,500円(税込)
【クレジット一般会員】年会費2,379円(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

サポート会員 お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター

TEL.077-523-7136

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

湖響 No.59 平成26年6月20日発行
発行・編集=公益財団法人 びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 <http://www.biwako-hall.or.jp>

〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス約7分(びわ湖ホール下車)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》有料849台 7:00~23:00 料金:4時間まで毎時210円

特別会員

お問い合わせ

広報マーケティング部 TEL.077-523-7140

びわ湖ホールの舞台芸術に関する諸事業に賛同し、これを支援して下さる方々です。

主催公演へのご招待

チケット優先予約

ゲネプロにご招待

年会費
一口につき 100,000円—

◎メインロビーへの企業名掲示 ◎びわ湖ホールHP、「湖響」への企業名等掲載およびリンク敷設

◎びわ湖大花火大会観覧ご招待など ※サポート会員の特典もすべてご利用いただけます。【詳しくはホームページをご覧ください。】

びわ湖ホールの運営にご支援をいただいている友の会《特別会員》のみなさま

株式会社秋村組/アサヒグループホールディングス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/一園テクノス株式会社/上原恵美/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社大津支店/株式会社エスサーフ/NTT西日本 滋賀支店/大津板紙株式会社/大津プリンスホテル/オブテックス株式会社/オリックス・ファンリィーズ株式会社滋賀支店/株式会社関西アーバン銀行/京セラ株式会社/株式会社京都銀行/京都橋大学/京都中央信用金庫/株式会社京都西川/株式会社京都ホテル/株式会社キョートー/京滋舞台芸術事業協同組合/甲賀高分子株式会社/株式会社コングレ/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社JEU/GIA/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和/バルブ製作所/瀬田医院/総合警備保障株式会社滋賀支店/株式会社そごう・西武 西武大津店/大和証券株式会社京都支店/高田橋/たねやグループ/ちばレディスクリニック/株式会社コムエス/株式会社テニール/東京海上日動火災保険株式会社滋賀支店/株式会社西浦商店/日新製菓株式会社/日新薬品工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本観光開発株式会社/日本興亜損害保険株式会社滋賀支店/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/野村證券株式会社大津支店/パナソニックESエンジニアリング株式会社近畿支店/株式会社バブルコ大津店/公益財団法人ハニハ文化振興財団/BSCウォータースポーツセンター/株式会社日立建機ティエラ/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/株式会社平和堂/ホテルテトラ大津/ホテルブルーレーク大津/株式会社松村電機製作所関西支店/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/明治安田生命保険相互会社滋賀支店/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール

(五十音順・敬称略)一部非掲載・2014年6月1日現在)